



# 建交労鉄道 岩手地本

2020年 10月16日  
NO 134号  
発行責任者  
須藤清成

## 旅のエチケットを守り 定期大会・OB会に参加を

ありがとう! 守って安心 エチケット

マスク着け、私も安心、周りも安心。  
 手洗いや、ゆったり座れば、気持ちもゆったり。  
 検温は、何はともあれ、平気い・清潔。

新しい旅のエチケット

エチケット 守るあなたは 旅達人

楽しくも、車内のおしゃべり控えめに。  
 おしゃべりを、ほどほどにして、かわらぐルメ。  
 毎日の健康チェックは、おしゃべり旅の身だしなみ。

ひとり一人の協力が、みんなの楽しい旅を守ります

### 第22回定期大会ご案内

日に日に秋が深まり、紅葉の素晴らしい季節となりました。皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

安全よりも利益優先のJR経営も、必要不可欠な鉄道を「赤字だから」と引きはがしている問題も、儲かる会社と国の支援がなければ成り立たない会社の矛盾も、その背景には国鉄改革が横たわり、今も「国鉄改革の完遂をめざす」という政治の転換なくして私たちの要求実現はありません。

ポストコロナ社会に、不要不急なリア新幹線の建設や北海道新幹線の延伸が必要か、密を誘発するようなJR会社の都市開発の推進か、それとも安全・安心で持続可能な鉄道輸送の拡充と、それを支える労働条件の改善か、を問う声を職場と地域に広げていくことが求められています。

建交労の多くの仲間は「エッセンシャルワーカー」であり、コロナ禍の中で、国民の生活を支えています。安心して働ける労働条件を求め、世間に訴えながら実利獲得を目指ため。

組合の定期大会を15時より八幡平ハイツ3階で行います。その後、恒例となりましたOB会を下記の日程で行いますご多忙中とは思われますが、ご参加を宜しくお願い致します。

記

定期大会	
日時	2020年11月11日(水) 15時
会場	八幡平ハイツ 3階会議室
	13時30分盛岡駅西口マリオス一階集合
OB会	
日時	2020年11月11日(水) 18時より
解散	11月12日(木) 9時の予定です。
会場	八幡平ハイツ
☎	0195-78-2121 F A X 0195-78-2041
会費	9000円

**お知らせ**

建交労岩手県本部定期大会	日	10月25日	10時より
場	上田公民館		視聴覚教室
所	建交労中央行動		
11月5日(木)			

## 人間が健康に生きて行く為に134

### 飛沫を知って わが家の「新しい食生活様式」考えよう!

5月4日、新型コロナウイルス感染対策で、厚生労働省から「新しい生活様式」が提案されました。食事関係では6つがあげられています。

- 新しい生活様式(食事関連)**
- 持ち帰りや出前、デリバリーも利用
  - 野外空間では気持ちよく
  - 大皿は避けて、料理は個々に
  - 対面ではなく横並びで座ろう
  - 料理に集中し、おしゃべりは控えめに
  - お酌、グラスのお猪口の回し飲みは避けて

この提言では、外食のさいのみならず、学校給食にも家庭内の食事でも可能な限り取り入れることを求めています。

しかし、食事は単に栄養補給だけではなく、一緒に食卓を囲んで会話し、人と交流する場であり、心の安らぎや楽しさが得られる大切な生活の一部です。厳守するあまりストレスを感じてしまえば、かえって体調を崩すもとにもなりかねません。

何を優先して食事の様式を決定するのか。主な感染源と考えられる飛沫の特徴を知ったうえで、職場や家庭で話し合っはいかかでしょうか。

**■ウイルスは鼻腔より唾液に多い**

・最近の研究で、鼻腔より唾液の方が約5倍ウイルスが多いことが判明。咳や会話などによる飛沫を減らすことがポイントとなっています。

**●飛沫とは**

- ・直径5マイクrometerより大きな水滴
- ・立った人の口から出て地面に落ちるまでの距離2~5m

**●飛沫核とは**

- ・直径5マイクロメートルより小さな粒子。飛沫の水分が蒸発し飛沫となり、空中を漂う。
- ・新型コロナウイルスを含む飛沫核は感染力を持たないとされるが、換気の不十分な空間では感染するという見解もある。

**■くしゃみ、咳、会話で生じる飛沫数。**

くしゃみ 一回約4万個。咳一回約3000個  
 会話 5分間約3000個

**■飛沫が飛ぶ距離目安**

くしゃみ 5メートル 咳 3メートル 会話 1メートル

**■飛沫の濃度を下げるために**

- ・換気を充分におこなうことで、空間の飛沫や飛沫核を減らすことができます。
- ・エアコンは室内の空気を循環させるだけなので、気温が高い季節でも換気することがポイント。

## 原発ゼロNO 114 日立製作所英国原発から撤退

日立製作所は16日、英国の原子力発電所の建設から運営までを担う一貫プロジェクトから撤退すると発表した。2019年に計画凍結を発表したが、総事業費が膨張し採算のメドが立たなかった。再生可能エネルギーが台頭するなか、原発の競争力は低下している。政府の原発輸出戦略は行き詰まっている。

同日の発表文で、日立は新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで厳しさを増す投資環境を撤退理由にあげた。英国の原子力発電所の建設から運営までを担う一貫プロジェクトから撤退すると発表した。2019年に計画凍結を発表したが、総事業費が膨張し採算のメドが立たなかった。再生可能エネルギーが台頭するなか、原発の競争力は低下している。政府の原発輸出戦略は行き詰まっている。

日立は12年に買収した英ホライズン・ニュークリア・パワーを通じて英中部アングルシー島に原発2基を新設する計画だった。だが約3兆円に膨らんだ総事業費を巡る英国政府との交渉や、運営を託すはずだった国内電力大手との出資交渉が難航。19年1月に計画凍結に追い込まれていた。11年の東京電力福島第1原発事故を機に世界的に原発需要が低迷している。安全強化で建設費用が高騰し、原発プロジェクトは軒並み採算確保が難しくなっている。老朽化した原発の廃炉も米国などで増えている。

**核のごみ処分場 狙われる北海道**

北海道寿都(すつと)町の町長が、高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の埋め立て地を決める第1段階となる調査への応募を検討しています。政府が核のごみの処分方法を検討し始めたのは1962年。以来、60年近くたっても処分地は未決定です。核のごみとは、使用済み核燃料を再処理した際に残る高レベルの放射性廃液をガラスで固めたもの。国はこれ

を300メートルより深い場所に処分場をつくり廃棄する計画ですが、少なくとも10万年は管理が必要とされ、誰も安全性に責任を負えないない代物です。**原発に頼らぬ財源 交付こそ**

日本共産党の真下道義団長の話。寿都町の片岡春雄町長は、応募検討の理由に最大20億円の交付金をあげてほしい。寿都町は早くから風力発電に取り組み漁業を振興してきました。地方を財政難に追いやってるのは国の

責任です。原発マネーに頼らなくても住み続けられる財源を国が交付すべきであり、町長は応募検討を撤回すべきです。北海道には核のごみを「受け入れ難い」と宣言した条例があります。核のごみは持ち込ませないという道民の声を広げるとともに、この条例をより厳しく改正する必要があります。



雲のない夜は、晩酌のほろ酔い覚ましに外に出て、星を見る季節となってきた。宮沢賢治の童話「よだかの星」。東京で中学校教師などを務めた三上満さんは、宮沢賢治記

10月のたわごと

「♪見上げてごらん夜空の星を」

T・H

切り裂いて飛翔しようとしていた。よだかの強烈な意志のために、黒い石材は、弧を描いて見事に切り裂かれ、これが上昇するよだか

の航跡となつていく。よだかは、逃避ではなく、『星になる』という強い意志をつらぬくために、何度拒否され突き落とされようと挑

の航跡となつていく。よだかは、逃避ではなく、『星になる』という強い意志をつらぬくために、何度拒否され突き落とされようと挑

# 今こそ要求を掲げるのが 労働組合の役割

## コロナ禍のもと全国鉄道本部23回大会を開催

コロナ禍において労働組合の積極的役割が問われるなかで、全国鉄道本部は9月19日、東京・御茶ノ水ソラシティにおいて第23回定期大会を開きました。限られた時間でしたが大会論議を通じ、第1に情勢変化をいかした組織建設をすすめる、第2に要求闘争と安全・安心を守る運動をすすめる、第3に国民的課題での共同行動の推進、とした運動方針を決めました。

### 新自由主義の もと格差と貧困が 拡大

### 今こそ憲法を守り 活かす社会へ 相木伸之委員長挨拶

コロナ感染の収束がみえないなかで、感染リスクと向き合っ 合って仕事と活動に奮闘されているみなさんに、心から敬意を申しあげます。 規模な自然災害と甚

### 「新自由主義」の先駆

「規制緩和」の先駆 けといわれた国鉄の 分割・民営化は、7 社分割による格差の 拡大にとどまらず、 「黒字は善、赤字は 悪」の旗のもと、公 共交通としての使命 よりももうけを優先

## 2020年、 年末一時金の支払いに関する申し入れ

コロナの危機でJR会社は大幅な減収に直面しています。 厳しい状況だからこそ切実な要求が生まれ、それを実現するための労働組合の出番です。 景気が悪いからと賃上げをあきらめたら労働者も企業経営も活力を失います。

### 記

1. 2020年年末一時金は、支払日に 11日までに団体交渉を開催し、誠意を以て回答されたい。



3. 55歳到達以降の社員に対する支給については、55歳到達時の基準内賃金に支

4. 支払日は、12月4日とすること。

### 八幡平散策 草紅葉をもとめて

藤谷 真紀子

九月十七日、スキーの仲間と夏山登山を行いました。私のクラブジョイフルから三名、他のクラブから四名、計七名の参加でした。

鏡沼、がま沼を過ぎ、八幡平展望台に着きました。草紅葉が始まりました。緑の樹林、そして八幡沼。心が癒される景色でした。そんな景色を見ながらの会話は、冬の山スキーで滑るコースの事など、さすが山スキーの方々だなあと感心しながら聞いていました。

も目を引く花や樹木がありました。キリンソウ、オオカメノキ、アズマギクなど、色々名前を教えてもらって楽しみながら歩きました。茶臼の頂上からは、はるか下まで見渡すことができました。



黒谷地

いの匂蛙の独り言 14  
コロナ コロナで騒いでいるが コロナそれはど怖くない 毒性弱く罹っていても知らぬ間に活いてしまう マスクは予防の意味はなく 莫大な予算無駄遣い 便乗したのは大企業 トンネル法人上手に使い 97%を電通に丸投げ GOTOで儲ける旅行社大手 それを束ねる自民幹事長 分科会科学者拡散怖れ GOTO見合わせ勧告したが それを重視した二階俊博



赤字路線をひきはがし、国民の足を平気できりすて、事故やインシデントが絶えない状況がつづいています。コロナ禍に、問題山積のリニア中央新幹線建設や、毎年100億円の赤字をうみだす北海道新幹線の延伸が必要か。それよりも安全・安心な公共交通の拡充を、という運動をこれまで以上に広げていかなければなりません。



もう一つ、コロナ禍で可視化されたことがあります。エッセンシャルワーカーと呼ばれる、必要不可欠な仕事に従事する人々への注目です。福祉労働者をはじめ、公共交通や物流、公衆衛生に関わる清掃労働者など、生活をするうえで欠くことのできない労働の社会的価値が見直されはじめました。現場で働く私たちは、感染のリスクと向きあいながら、鉄道や清掃というインフラを支えなければなりません。しかし、こうした必要不可欠な仕事に従事している仲間の労働条件は、決して恵まれているとは言えません。生活をすすめるうえで「必要不可欠な」労働への社会的価値が見直されはじめたときだからこそ、安心して働く労働条件を求め、世論にも訴えながら実利獲得をめざしていくことが必要です。



八幡平頂上

源太森から黒谷地湿原に向かう道には、リンドウがあちらこちらに咲いています。黒谷地湿原でたっぷり昼食時間をとり、その後、黒谷地駐車場に向かうグループと茶臼に向かうグルー



草紅葉